

1. 安全・安心な入院生活

<転倒・転落>

入院中のがん患者の転倒・転落の原因は、化学療法・手術療法などの治療や薬剤の影響、疼痛やせん妄*などのがんに伴う身体症状、環境変化など多岐にわたります。

当院では、転倒・転落および有害事象の発生を最小限に留めることを目的として、がん患者の状況を転倒・転落リスク評価シート・バランスチェックを用いて定期的および、病状変化時に評価し、危険性を予測し予防策を実施しています。

※1 せん妄とは「全身状態が悪い」、「痛みが強い」、「薬剤」などが原因で一時的な脳機能の調整不良によっておこる心身の不適切な行動や反応であり、多くは場所や時間を認識する能力や覚醒レベルに異常が生じること

分母：入院延べ患者数

分子：医療安全管理室へインシデントレポートが提出された転倒・転落のインシデントレポート件数

分子除外：インシデントレポートの内影響レベル 0 のレポート

転倒転落発生率 = 転倒転落発生件数 / 病棟の在院患者のべ人数 × 1000 (%)

セーフティ	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
発生件数	332	314	293	335
発生率	2.3	2.4	2.2	2.5
病棟の在院患者の延べ人数	144779	131674	135515	132919

